

お手入れ ガイド

食器洗浄機

※詳しいお手入れ内容は取扱説明書をご確認ください。



お手入れの前に



警告

- ドアを開けた直後の湯の滴下に注意すること。やけどをする原因になります。
- 洗浄タンク内の湯は高温（60～80℃）ですので直接手を触れないこと。やけどをする原因になります。

毎日のお手入れ

電源スイッチ

- 1 本体や、ブースターを使用している場合はブースターと一緒に電源を切ります。



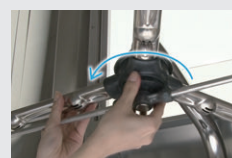
排水パイプ、タンクフィルター

- 1 ラックレールを起こし、排水パイプを外して排水します。
- 2 タンクフィルターを外します。
- 3 タンクフィルターと排水パイプの残菜やごみを取り除き、汚れをたわしで洗い落とします。



洗浄ノズル

- 1 ノズルナットを矢印の方向に回してゆるめ、すすぎノズルを支えながら洗浄ノズルと同時に取り外します。下も同様に取り外します。
- 2 タンクフィルターと排水パイプの残菜やごみを取り除き、汚れをたわしで洗い落とします。
- 3 洗浄ノズル、すすぎノズルが目詰まりしている場合、ブラシや針金で残菜やごみを取り除き、洗ってください。



洗浄室

- 1 セパレータを手前に持ち上げて取り外し、洗浄します。



毎日のお手入れ

タンク内

- 1 タンク内に残菜やごみが付着している場合は手で取り除き、こびり付いた汚れはたわしで洗い落してください。



- 2 ポンプガードのつまりの有無を確認し、つまっている場合や汚れが付着している際はたわしなどで取り除きます。



- 3 水位センサーも汚れが付着している場合は、ブラシなどで掃除します。



⚠ 使用上の注意

水位センサーの掃除に、金属ブラシは使用しないでください。表面が傷ついたり、金属片が付いて誤作動の原因になります。

セルフクリーニングから終了まで

- 1 上下のすすぎノズルだけを取り付け、ラックレールを倒します。



- 2 ドアを開けたまま洗浄機の「電源スイッチ」をONにします。



- 3 「休止 / クリーニングスイッチ」を3秒間押し「SC」が点灯したら、扉を閉めることでセルフクリーニングが開始されます。



- 4 ブザーが鳴り、表示が全て消灯したら終了です。洗浄機の電源スイッチ及び給湯器の電源を切り、ガス、給水の元栓を閉じます。



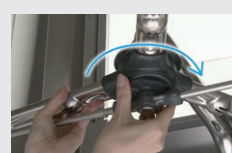
- 5 ドアを開け、蒸気を逃がしてから上下のすすぎノズルを取り外します。



- 6 セパレーターを取り付けてから、タンクフィルターを取り付けます。



- 7 洗浄ノズルをノズル軸にはめ込み、矢印の方向に止まるところまでねじ込みます。下も同様に行ってください。



- 8 洗浄ノズル、すすぎノズルが手で軽く回る事を確認します。



- 9 排水パイプを差し込み、洗浄レールを倒して、ドアを静かに閉めます。



⚠ 使用上の注意

排水パイプはしっかり差し込んでください。差し込みが不十分な場合、洗浄タンクから洗浄湯が漏れ、洗浄効率が低下して洗い上がりが悪くなったり、エアがみ運転を起こします。

一週間に 1 回のお手入れ

ヒーター

- 1 ごみが付着している場合手で取り除き、汚れはブラシ等で洗い落としてください。



⚠ 使用上の注意

ヒーターの掃除に、金属ブラシは使用しないでください。表面が傷つく恐れがあります。

外装

- 1 柔らかい布で拭き取ってください。汚れが酷いときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませた布で拭いたあと、洗剤が残らないよう、きれいな布で拭き取ります。

